一夜そいおあ夜 今がれえ伽のは 晩来はいの星ど はる楽え国越こ 一来しそかえか 一るいうらてら (" 晩夜家は来月来 はが庭ある越る 一来かりかえか るらましてし せらら め

一屆そいねあ昼 今がれえんのは 日来はいね山ど はる働えの越こ 一来くそ里えか 一る うかてら 今 家でら 日尾庭は野来 はがかあ来をる 一来らりる越か まかえし せしてら ぬら

一朝そい光あ朝 おがれえののは 早来はい国空ど よる希えか越こ う来望そらえか 一るのう てら で来 お朝家はる雲来 早が庭あか越る よ来かりしえか うるらまらてし ぬ

期 1 さ

朝 はどこか 空越え 5

光

玉

から

え

いえそう

では

と来るかしらい来るかしらいまるかしら

それは希望のありませぬ

望の家庭から

朝が来る来る

「お早よう」

「お早よう」

2

あ はどこから

越え 来るか 野を越えて

ら

来るか え いえそうでは しら

ね

h

ね

の里から

あ りませぬ

れは働く 家庭から

恒が来る来る つ 令 は 「 今 日 屋が来る は

はどこか 5

星 越え

来るか 越え

るか S お

(T)

玉

か

あ りませぬ え えそうで

れは楽

家庭 か

が来る来る 「今晩は」

夜が来る